

(様式1)

校 種	小 ・ 中	学校番号	1 3	学校名	宇都宮市立豊郷中学校
-----	-------	------	-----	-----	------------

令和4年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

温かな人間関係のもと、豊かな心をもち、自ら学び主体的に生きようとする生徒の育成

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

- | | | | |
|--------------------|-----|---|--------------|
| ・心身ともに健康で気力あふれる生徒 | 体 | } | 知識及び技能 |
| ・自主的に学び創造性にとむ生徒 | 知 | | |
| ・思いやりがあり心豊かな生徒 | 徳 | | 思考力、判断力、表現力等 |
| ・勤労と責任を重んじ実践力のある生徒 | 実践力 | | 学びに向かう力、人間性等 |

2 学校経営の理念

○ 行きたい学校 通わせたい学校 勤めたい学校

3 学校経営の方針

本校のスローガン

「笑顔と感動のあふれる学校 豊郷中 ～通じ合う心 粘り強い努力～」

「豊郷地域学校園教育ビジョン」（とよさとの学び）

○ 「豊かな郷の生き生きとした子どもたち」

〔重点課題〕

- ・主体的・対話的で深い学びを実現するため、分かる授業の実践や学習態度の育成、学習習慣の定着などにより学力向上を図る。
- ・すべての教育活動を通して心の教育を推進し、豊かな心と社会性の育成を図る。
- ・元気アップ教育を推進するとともに、健康や体力への意識を高め健やかな心と体の育成と活力ある生活の確立を図る。
- ・家庭・地域との連携・協力を深め活気あふれる学校づくりに努める。
- ・各種教育活動の精選化とともにミドルリーダーを核とした校内組織の活性化・重点化により教職員の働き方改革を推進する。

- (1) 学習指導において、教師間で授業を見せ合う機会を多くし、授業実践を通じた指導力の向上に努め、教材やICTを効果的に活用しながら、「宇都宮モデル」に留意し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の工夫・改善を図る。
- (2) 生徒の自主的・自治的活動を積極的に取り入れ、安心して考えを伝え合い、互いに高め合える学級集団の育成に努め、一人一人の個性の伸長を図るとともに、協働して課題に取り組む態度を養う。
- (3) ○道徳教育において、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的、多角的に考え、自己の生き方や人間としての生き方について考えを深めることができるよう道徳の時間の充実を図り、すべての教育活動をととして道徳的実践力の育成に努める。
- (4) 生徒指導において、生徒一人一人の存在を認め、よさを褒めて育てることにより生徒の自信や自己有用感を高め望ましい行動への意欲付け図るとともに、許すことができないことは毅然とした態度で指導し、正しい判断力と実践力を育てる。
- (5) すべての教育活動に、特別支援教育や教育相談の考え方を生かし、一人一人の生徒の内面や能力・環境等の的確な理解の上に、その教育的ニーズに応える教育の実践に努める。
- (6) ○小中一貫教育と地域学校園の推進に努め、重点化・焦点化した活動を展開する。
- (7) 施設設備等のハード面や、言語環境・掲示環境等のソフト面の整備・充実に努める。
- (8) ○生徒・保護者・地域住民等とのより良い人間関係を構築し、地域の小学校との連携はもとより体験的な活動の充実を図り、地域とともにある学校づくりを推進して人間性や社会性豊かで広い視野に立つ生徒を育成する。
- (9) 学校運営では、「教職員の働き方改革」の視点から、ミドルリーダーを核とした校内組織の活性化を図り、校内業務の精選化・効率化を推進していくとともに、勤務時間を意識した働き方を推進していく。
- (10) 「教職員評価制度」や「学校マネジメントシステム」、「魅力ある学校づくり地域協議会」等を有効に活用しながら、学校と家庭・地域との連携・協力を深め、教職員一人一人が情熱をもち協働して指導する。

4 教育課程編成の方針

- (1) 持続可能な小中一貫教育を推進し、地域学校園で連携した取組を家庭や地域に積極的に発信するなど教育地域とともにある学校づくりの一層の充実を目指す。
- (2) 生徒の発達段階を考慮し、学習の基盤となる資質・能力や、SDGs等に係る現代的な諸課題に対応していくための資質・能力を育成することができるよう、教科等横断的な視点で、各教科等の関連付けを図りながら教育課程を編成する。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

- (1) 学校運営
 - ・ミドルリーダーを核とした組織の活性化とともに、校内業務の精選化・効率化を図る。
 - 地域と連携した諸活動の推進
- (2) 学習指導
 - 「とよさとの学び」に基づいた教員の授業力向上の推進、並びに家庭・地域と連携した学力向上を図る。

(3) 児童生徒指導

○認め励ます教育の一層の推進による豊かな心や社会性をもった生徒の育成

(4) 健康（体力・保健・食・安全）（元気アップ教育に係る取組を含む）

○生涯にわたって心身ともに健康で安全な生活を送るための資質や能力の育成

6 学習指導，児童生徒指導，健康（体力・保健・食・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

ア 自分で課題を見つけ，主体的に取り組み，話し合い等により考えを深め，よりよく問題を解決する能力

イ 規範意識をもち，思いやりの心や感動する心などの豊かな人間性や社会性を身に付ける

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

ア 授業において，互いを認め合い励まし合う学習活動の中で，教材やICTを効果的に活用しながら，生徒の能動的・主体的学びを引き出す工夫をする。

- ・ 授業公開期間を設定し，互いに授業を参観し合う機会の充実を図る。
- ・ 学校図書館教育を中心とした教科等へのNIE教育の活用を図るとともに，読書活動の質的向上や学習情報の活用に努める。

イ 学級活動や学校行事・生徒会活動の充実，部活動の推進，タイム着席の実施等を通して，自ら考え判断し行動する場をより多く設け，主体的態度や自立・自律の態度を育成し，生徒のもつ多様な資質・能力の向上を図っていく。

ウ 宮っ子チャレンジウィーク，地域の文化財や自然（瓦塚古墳・北山古墳等）を守る活動，地域行事への参加，各種ボランティア活動等を充実させ，自己の在り方を見つめ，よりよく生きようとする態度や地域を愛する心を育てる。

エ 教科指導，道徳，学級活動，生徒会活動，学校行事等横断的な視点での関連を図り，生徒の学びを深める。

◇オ 「魅力ある学校づくり地域協議会」と連携して，小中一貫教育や地域学校園の取組を進める。

カ 緑化・諸掲示・美術・音楽・言語・生活習慣等の教育環境を，教科学習・生徒会活動・学級活動等の活動を通して整備・充実していく。

◇キ 質の高い文化・芸術に触れる機会や様々な人々との交流活動等を通して，豊かな感性や思いやりの心を養う。

8 本市の重点施策・事業と関連する取組

(1) 地域とともにある学校づくり（魅力ある学校づくり地域協議会との連携・協働を含む）

① 基本的考え

「魅力ある学校づくり地域協議会」の意見を参考にし，地域コーディネーターを中心に地域内の教育資源の活用を図る。

② 主な取組

- ア 地域コーディネーターや地域内の関係施設、団体との連携に努め、地域の教育力の活用を推進する。
- イ 生徒会が中心となって生徒や保護者、地域に呼びかけなどしながら、古墳の清掃活動やあいさつ運動などの自主的ボランティア活動を推進する。
- ウ 生徒の地域社会への関心を高めるため、「地域未来会議」や、部活動単位や個人単位での地域行事への積極的な参加を推進する。

(2) 小中一貫教育・地域学校園

① 基本的考え

「豊郷地域学校園教育ビジョン」を基本とし、より焦点化を図った取組を推進する。

② 主な取組

- ア 各学校が共通して取り組めるよう、「とよさとの学び」の充実を図るとともに、家庭・地域と連携した学力向上策を展開する。
- イ 各教科重点指導単元等一覧の策定・改善を行うとともに、各学校はもとより小・中学校間の相互授業参観の機会を増やし、さらなる授業力の向上に努める。
- ウ 学校園での取組の経過などを各種のたよりの発行や魅力ある学校づくり地域協議会での報告を通して、保護者や地域への発信に努める。

(3) 不登校対策

① 基本的考え

全ての生徒にとって居がいのある、温かい雰囲気の下級経営を行うとともに、学年の教職員が共通認識の下、役割分担をして生徒及び保護者に向き合う取組を推進する。
また、SC・MS等との連携により必要に応じて別室登校の支援や関係諸機関へつないでいく。

② 主な取組

- ア 日頃からの信頼関係を構築するとともに、生徒同士が関わり合いをもつ中で、自己の存在意義が実感できるよう、学級経営の充実を図る。
- イ 学級担任を中心に学年及び教科担当の教員で、一人一人に対する関わりを役割分担し、状況に応じた的確な対応を行う。
- ウ 校長、SCMが生徒指導部会と教育相談部会の両方に参加し、生徒の状況を的確に把握し、校内で共通理解を図り組織的に対応する。
- エ 生徒の状況に合わせて、一時的に教室以外の場を利用した別室登校支援や一人一台端末を活用した連絡や学習支援を行うとともに、市の教育センターをはじめとする各種関係機関と連携し、個の状況に応じて迅速な対応に努める。

(4) G I G Aスクール構想

① 基本的な考え

I C Tの活用を通して、指導の個別化と学習の個性化を図り、全ての生徒に対して、個別最適化された学びを実現する。

② 主な取組

ア すべての生徒、教職員が端末を文具の一つとして、授業の内外で日常的に活用することから始め、授業における共同学習ソフトを活用したり、探究的な学びを促進したりするなど、段階的に活用を進める。

イ 教職員は、I C Tを日々の授業や校内研修等で積極的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に努める。

ウ 教科や学習内容に応じて、AI 型学習ドリル等を計画的・効果的に活用し、基礎・基本、基本的知識・技能の定着を図る。

(5) 宇都宮学

① 基本的な考え

豊郷地区を始め宇都宮の歴史や伝統文化についての理解を通して、宇都宮の良さや特徴に気づき、郷土への愛情や誇りに思う態度を養うとともに、郷土の未来について進んで考えていこうとする態度を養う。

② 主な取組

ア 学習の効果を高めるため、各教科等との関連を図りカリキュラム・マネジメントに努める。

イ 豊郷地域学校園においての連携をさらに深め、地域の人材や資源を有効に活用した授業に取り組む。

ウ 宇都宮学で学んだことをもとに、地域に貢献できる活動や、地域への発表活動等実践力につなげる。